

2015年度北海道新幹線（仮称）「奥津軽いまべつ駅」開業！

平成25年

11月号

592

- いまべつ秋まつり…………… 1
- 新町長就任挨拶…………… 2
- 町の話…………… 3
- 平成24年度決算報告…… 4～5
- 議会だより…………… 6～10
- 町の話・お知らせ……11～13
- 診療所からのお知らせほか…14
- 保健師だよりほか……………15
- 町の元気な子ども達ほか……16

広報 いまべつ

発行/青森県今別町 編集/企画課 ☎ 0174(35)3012 FAX 0174(35)2298 今別町ホームページアドレス <http://www.town.imabetsu.lg.jp/>



歌謡ショーや荒馬を楽しむ皆さん



大抽選会で米が当たり、喜びの笑み



牛肉販売には長～い行列ができました

いまべつ秋まつり

～今別の秋の味覚満喫～

10月20日、いまべつ秋まつり実行委員会（会長・間山ちよ）主催による「いまべつ秋まつり」が、海峡あすなる公園において、開催されました。

朝から肌寒く、午後には小雨に見舞われましたが、会場には多くの皆さんが訪れ、今別三大まつり最後の祭りを楽しんでいました。実行委員会会長から「今年の秋まつりは、昨年より一週間遅く開催されたので、野菜等の出品物も例年以上の数を揃えることができました。今別三大まつりの一つである秋まつりで、今別町を町外に発信する機会として、多いに盛り上げていきましょう。」と挨拶があり、会場では今別牛の販売、125キロの津軽海峡クロマグロの解体販売、牛鍋試食会、かぼちゃ・さつまいもの詰め放題の他、会場に設置されたテント内には町内外の団体が出店し、多くの野菜や果物、海産物、工芸品や加工品等が並べられ、それを買い求める人々で賑わいました。また、今年は北海道新幹線開業に向けて特産の開発を行っている12団体が、それぞれの特産物の展示・試食・販売を行い、町民の皆さんを始め、町外の皆さんに開発中の商品を知ってもらうことができました。その他、ささきまこと&津軽圭助一行による歌謡ショーや津軽三味線で会場を盛り上げました。まつりの締めくくりには恒例の大抽選会が行われ、今年の秋まつりも大盛況に終わりました。



大川平荒馬



肌寒い中のビールもなかなか美味



特産品開発コーナーも大人気



県庁情報システム課 りんごちゃん



今別荒馬



今別牛に舌鼓



大盛況のさつまいもの袋詰め

秋まつり番外編

びっくりフォト



大川平地区嶋中文博さん宅の庭に実を付けた「あけび」です。今年の天候のせい、26個の実を付けた。特産品開発のテント内に展示したところ、会場を訪れた皆さんから感嘆の声が上がっていました。



大人2人分の重量の「津軽海峡クロマグロ」は125kg

新町長・阿部義治氏 初当選

北海道新幹線開業へ向けての
ソフト・ハード面の整備へ
全力傾ける

10月6日、今別町長選挙が行われ、新町長に阿部義治氏（63歳）が初当選しました。阿部義治新町長は、10月15日役場へ初登庁し、職員を前に今後4年間にわたる町政運営の指針やまちづくりの施策を訓示し、「北海道新幹線開業は今別町の最大で最後のチャンスでありソフト・ハード面での整備へ全力を傾けていきます。」と強調しました。任期は10月13日から4年後の平成29年10月12日までです。



初登庁で職員から花束を受ける阿部町長

就任あいさつ

町民とともに歩みます 1次産業を元気に

このたびの町長選挙に際しましては、町民のご支援をいただき、町長に初当選することができましたことを心から感謝申し上げます。

私はこれまで役場職員を32年間、助役、副町長を7年間勤め上げ、多くの町民にお会いする機会がありました。選挙という洗礼を受ける立場で町民に直接触れ合い、生の声を聞いて、改めて政治を志すことになりました。自覚と、町民が何を求めているのかを身にしみてひしひしと感ずるとともに、町長の責務の重大さを痛感しております。

私は選挙を通じて、歴代の町長が築き上げてきた今別町を継続し、あと2年余りで開業する北海道新幹線（仮称）「奥津軽いまべつ駅」開業へ向けて、最大で最後のチャンスでありソフト・ハード面での整備へ全力を傾けていくことを強調しました。また、基幹産業である1次産業を元気にしていくことを訴えてきました。何といたっても町政の主役は町民であり、町民との対話を通じて常に町民の立場で考え、ともに歩む姿勢で町民の総意を反映した町政を進めていく考えであります。

初町長としての私の施策として、次の6項目を公約として取り組んでいきたいと考え、力いっぱい頑張っていく所存でありますので、町民の皆さんのより一層のご指導とご協力をお願いし、私の就任の挨拶といたします。

① 北海道新幹線（仮称）「奥津軽いまべつ駅」開業対策

- ・ 「奥津軽いまべつ駅」開業対策アクションプランの推進
- ・ 物産販売施設整備や街並観光サインの整備と観光客の受入体制づくり
- ・ 観光ボランティアや観光・商工団体等への協力と援助

② 基幹産業の振興

- ・ 新規就農と農業担い手支援制度の活用促進
- ・ 育てる漁業を推進し、漁獲の安定を図る
- ・ 畜産の振興と特産今別牛普及に取り組み
- ・ 地元農水産物等を利用した加工品の開発促進

③ 社会福祉の向上

- ・ お年寄り安心サポート事業の実施
- ・ ふれあいコミュニティの「たまり場」づくり
- ・ 地域密着型サービス等の充実

④ 教育・文化の振興

- ・ 児童生徒減少対策として、小中学校の教育環境を考える協議機関設置
- ・ 保育料と学校給食費の負担軽減を図る
- ・ 町民の健康づくりとスポーツ振興を図る
- ・ 郷土芸能「今別町の荒馬」の継承に努める
- ・ 町制施行60周年記念事業として、町史編さんと発行

⑤ 広域連携と新しい振興対策

- ・ 今別診療所の施設充実と外ヶ浜病院をサテライト拠点とした広域医療の確立
- ・ 広域消防今別分署体制と施設設備の充実を図る
- ・ 将来の貨物列車「トレイン・オン・トレイン」の基地誘致を目指す

⑥ 町行財政の健全な運営

- ・ 全会計の健全化に努め、町の将来負担を抑える
- ・ 省エネ事業として、LED街路灯を導入し明るい街並みづくり
- ・ 町民との対話集会や各種団体等との情報交換会を随時開催

生きがい健康づくりと敬老の集い

今別町長寿者番付表 (敬称略)

《男性部門》 平成25年9月1日現在

順位	長寿者氏名	年齢	地区名
1	田中久次郎	100	大川平
2	吉田太助	99	大泊
3	井関文治	93	西田
4	藤田義元	93	今別
5	岡野三千郎	92	今別
6	勝野英男	92	今別
7	木村勇	92	浜名

《女性部門》

順位	長寿者氏名	年齢	地区名
1	川村やな	98	西田
2	鈴木ツセ	98	特養
3	澤田なさ	97	浜名
4	米谷サナ	97	大泊
5	三上つせ	97	大川平
6	大川ミエ	97	今別

ダイヤモンド婚者 (婚姻60年)

◎浜名 五十嵐 光雄・リサ

金婚者 (婚姻50年)

◎今別 松本 忠・常子
 鳴海 清造・勝子
 勝野 正英・正子

◎西田 小鹿 信行・ルニ
 菊地 登・ニイ子

白寿者 (99歳)

◎大泊 吉田 太助

米寿者 (88歳)

◎今別

藤田 鉄次郎
 木村 キヨ
 阿部 ハル
 木村 かねめ

◎西田

相内 みせ

◎浜名

木村 ふみゑ
 坂本 チエ
 澤田 みつゑ

◎大川平

小鹿 治 夫子
 小鹿 敏 子
 小鹿 ミヨエ
 鈴木 ツセ

◎山崎

堀谷 文二

◎大泊

山打 フミ

木村 キヌ

古谷 かせ

◎褒月

佐々木 信一

米田 住男

堀谷 史都

堀谷 ミツ

◎砂ヶ森

鈴木 フサ

藤巻 とみ

川口 美代

管原 千ヤ

◎綱不知

田中 洋逸

横岡 とし

保健協力員功労賞

◎今別 工藤 美奈子

小鹿 真澄

◎西田 田中 京子

9月26日、「今別町生きがい健康づくりと敬老の集い」が開発センターにおいて開催されました。小鹿町長の挨拶の後、敬老の集い部門と生きがい健康づくり部門の表彰が行われました。アトラクションでは、今別保育園児の遊戯と老連女性部舞踊が披露され、満場の拍手を浴びていました。

最後に「長寿の町『今別』を目指して」と題して、今別診療所所長・松田哲朗医師の講演が行われました。

その中で、「今別町は県内一の高齢化率の高い町であるが、それを県内一元気なお年寄りが多い町としてアピールできるような、町にしていきたいと思います。」と、とても温かく心強い講演が行われました。



米寿の表彰を受ける皆さん



熱心に講演を聞く皆さん



講演をする松田医師



金婚の勝野夫妻

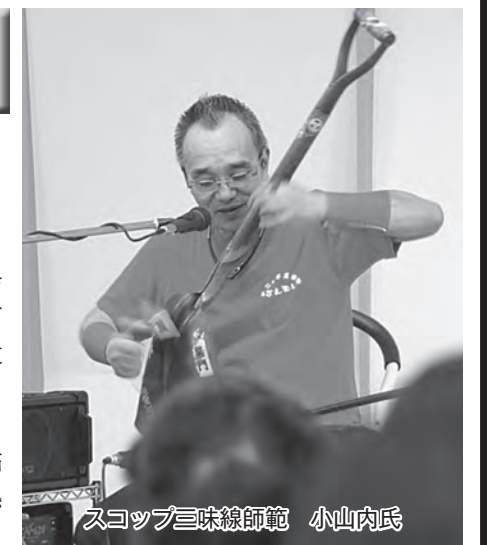
第4回公民館まつり

ひろげよう 学びあう仲間 地域の輪

9月21日、今別町中央公民館に於いて今別町文化団体連絡協議会主催による、第4回公民館まつりが開催されました。オープニングは「スコップ三味線」による和洋折衷のにぎやかな曲で始まり、大正琴やコーラス・読み聞かせ・子どもたちによるストリートダンスなど日頃の練習の成果が披露され、多くの拍手を浴びていました。また、展示コーナーでは生け花・七宝焼き・裂き織り・水墨画・粘土細工・小学校児童の習字や絵画も張り出され、来場した方々は熱心に観賞していました。



楽しそうに踊るキッズダンス



スコップ三味線師範 小山内氏



輪投げも好評



女性の皆さんに人気の七宝焼きコーナー



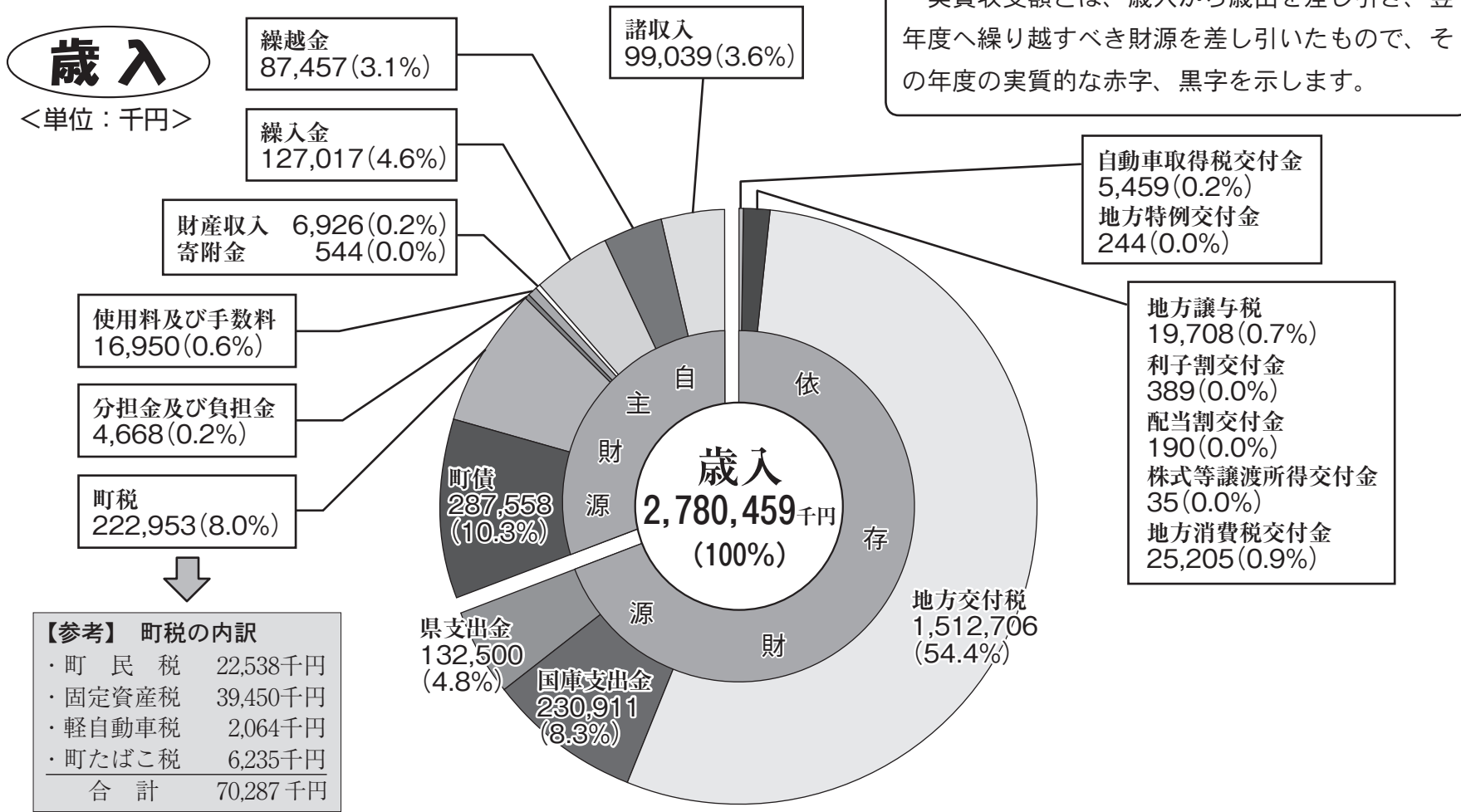
スコップ三味線の音色に聞き惚れる皆さん

決算報告

「財政健全化計画」実施の中で、平成24年度（H24.4.1～H25.3.31）に町にはどのようなお金が入り、私たちの暮らしや町づくりにどのように使われたのかお知らせします。

(一般会計歳入決算額) 27億8,045万9千円 - (歳出決算額) 26億5,703万6千円 = (歳入歳出差引額) 1億2,342万3千円

(歳入歳出差引額) 1億2,342万3千円 - (翌年度への繰越) 373万6千円 = 実質収支額 **1億1,968万7千円**



平成24年度の主な事業

- ・奥津軽駅前整備事業（繰越分含む） 95,463千円
- ・村元大川平線外舗装補修事業 64,690千円
- ・北海道新幹線建設費負担金（繰越分含む） 26,089千円
- ・ロータリー除雪車購入費 24,001千円
- ・清川下流地区基盤整備促進事業 20,588千円



着々と進む新幹線工事

【歳入】
一般会計の歳入総額27億8千45万9千円で前年度より、3千146万5千円（1.1%増）の増額決算となりました。国庫支出金や地方交付税、町債等の依存財源が大きく増加しました。町税、繰入金、分担金、負担金など自主財源は減少し、全体を占める割合も20.3%と昨年度より1.3ポイントの減となりました。

会計別歳入歳出決算額

単位：千円

会計名	歳入	歳出	差引残額
一般会計	2,780,459	2,657,036	123,423
特別会計	国保事業	499,936	32,978
	国保診療	252,640	4,638
	後期高齢者医療	40,843	690
	介護事業	422,075	15,578
	介護サービス	17,213	5,909
	水道事業	135,326	▲ 11,145
	小計	1,416,681	48,648
合計	4,197,140	4,025,069	172,071

一般会計を町民1人当たりによると
(平成25年3月末人口3,172人より算出)

納めたお金
70,287円

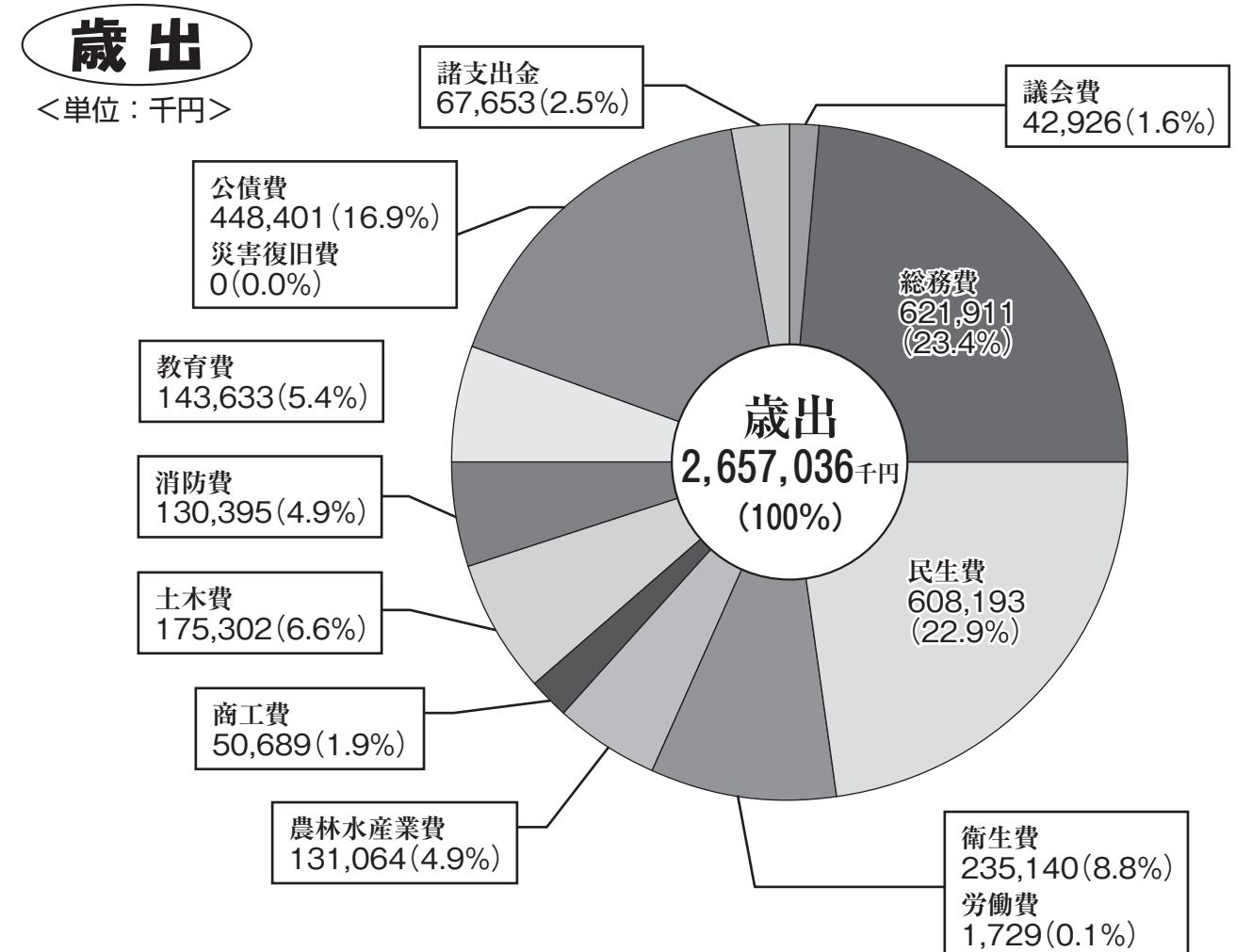
固定資産税	39,450円
町民税	22,538円
軽自動車税	2,064円
町たばこ税	6,235円

使われたお金
837,653円

総務費	196,063円
民生費	191,738円
公債費	141,362円
衛生費 (うち広域事務組合分 (ゴミ、し尿、斎場))	74,130円 (39,019円)
教育費	45,282円
土木費	55,265円
消防費	41,108円
農林水産業費	41,319円
諸支出金	21,328円
商工費	15,980円
議会費	13,533円
災害復旧費	0円
労働費	545円

平成24年度

【歳出】
 一般会計の歳出総額は前年度より、8千2百49万9千円増（3.2%増）の26億5千7百3万6千円となりました。増加の要因としては奥津軽駅前整備事業、北海道新幹線建設費負担金、各地区防災コミュニティ助成事業、各集会施設改修工事交付金による総務費の増、今別診療所改修工事に伴う国民健康保険特別会計（診療施設勘定）繰出金の増による民生費の増、清川下流、大川平下流地区基盤促進事業による農林水産業費の増が、主な要因です。



「健全化判断比率及び資金不足比率の状況」

1. 健全化判断比率（実質赤字比率の「-」表示は、黒字を表します）

区分	平成24年度 決算比率	平成22年度 決算比率	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
①実質赤字比率	-	-	15.00%	20.00%
②連結実質赤字比率	-	-	20.00%	30.00%
③実質公債費比率	17.50%	14.70%	25.00%	35.00%
④将来負担比率	102.90%	121.60%	350.00%	

2. 資金不足比率

特別会計名	決算比率 (24年度)	決算比率 (23年度)	経営健全化基準
今別地区簡易水道事業会計	-	-	20.0%

①実質赤字比率
 一般会計等の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。

②実質連結赤字比率
 すべての会計の黒字や赤字を合計して、赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。

③実質公債費比率
 借入金の返済額や借入金に準ずる経費の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すものです。

④将来負担比率
 一般会計、特別会計等の借入金や、将来一般会計が支払う可能性のある負担等を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかを示すものです。

⑤資金不足比率
 公営企業の資金不足を指標化し経営状況の深刻度を示すものです。

議会だより

発行/東津軽郡今別町議会
編集/議会広報委員会

No.177

平成24年度一般会計・特別会計決算を認定

第411回定例会が平成25年9月6日招集され、12日までの7日間の会期で開催されました。
提案された議案は、平成24年度決算の認定7件、条例案2件、平成25年度補正予算案7件、あわせて16議案を、いずれも原案どおり認定・可決されました。

第411回定例会

※認定された平成24年度の決算は、一般会計の歳入合計27億8千45万9千円（前年度比1.0%増）、歳出合計26億5千7百3万6千円（前年度比1.0%増）となりました。

会計別の決算額

(単位：千円)

一般会計	歳入	2,780,459
	歳出	2,657,036
国保（事業）特別会計	歳入	532,914
	歳出	499,937
国保（診療）特別会計	歳入	257,278
	歳出	252,641
後期高齢者医療特別会計	歳入	41,533
	歳出	40,844
介護（保険）特別会計	歳入	437,653
	歳出	422,075
介護（サービス）特別会計	歳入	23,122
	歳出	17,214
簡易水道事業特別会計	歳入	124,181
	歳出	135,327
合計	歳入	4,197,140
	歳出	4,025,074

条例関係

○今別町税条例の一部を改正する条例
地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が公布されたことに伴い改正するもの。

○今別町国民健康保険条例の一部を改正する条例
地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が公布されたことに伴い改正するもの。

予算関係

○平成25年度一般会計
2億3千42万8千円を増額し、総額32億1千6百95万3千円

補正予算の概要

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額	補正の主なもの
一般会計	231,428	3,216,953	駅前広場水資源確保試験さく井工事 10,000 除雪作業委託料 14,000
国保（事業勘定）	40,725	620,266	返還金 11,749
国保（診療施設勘定）	4,638	181,538	車庫工事 534 予備費充当 3,684
後期高齢者医療	689	50,424	予備費充当 676
介護（保険事業勘定）	13,682	434,416	予備費充当 11,434
介護（サービス事業勘定）	5,909	24,428	予備費充当 5,714
簡易水道事業	12,572	147,716	繰上充用金 11,145
合計	309,643	4,675,741	

意見書

○道州制導入に反対する意見書（可決）

第410回臨時会

平成25年8月5日、第410回臨時会が招集され、議案8件を原案どおり承認・可決し閉会しました。

条例関係

○今別町職員の特殊勤務手当支給条例の全部を改正する条例について
今別診療所医師採用に伴い、今別町職員の特殊勤務手当支給条例の全部改正が必要となり専決処分するもの

○今別町国民健康保険診療所の医師の給与に関する条例の廃止について
今別診療所医師採用に伴い、今別町国民健康保険診療所医師の給与等に関する条例が必要ないため専決処分するもの

その他

○（仮称）奥津軽駅前広場屋内駐車場新築工事請負契約について
志田・相内経常建設共同企業体との工事請負契約の締結を可決契約金額は、3億5千9百20万5千円

○除雪機械（4tダンプ）売買契約について
青森三菱ふそう自動車販売株式会社との売買契約の締結を可決契約金額は、6百77万2千5百円

○今別診療所超音波診断装置及び内視鏡検査画像システム売買契約について
株式会社シバタ医理科青森営業所との売買契約の締結を可決契約金額は、1千2百43万2千円

○今別町八幡町集会所の指定管理者の指定について
指定管理者について、地方自治法第244条の2第3項及び同条第6項の規定により提案するもの

予算関係

25年度補正予算（7月8日専決）

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額	補正の主なもの
一般会計	3,342	2,985,525	鳥獣被害防止総合対策事業貸付金 845 予備費 2,147

一

般

質

問

富士直治 議員

北海道新幹線奥津軽いまべつ駅の有効活用について

駅名も決まり、アクションプランに沿った取り組みがされていますが、五所川原市、弘前市など少し距離がある地域でも、北海道新幹線のために向けた様々な取り組みが新聞やネットで報道されています。しかし、当町の取り組みは町民に周知されていないように感じます。

質問 (1)特産品開発補助金について

企画課長

昨年度から始まった同事業は、平成24年度で5団体、今年度はすでに8団体が申請しており、さらなる活用が見込まれています。

当町で、生産されている素材を活用した農林水産物の加工食品を中心に、イベント等でも活用できるファーストフードやお菓子等の開発を進めている状況です。

また、加工食品以外では、イベント用品やお土産品などの研究、生産も進めております。

すでに、販売先等が安定しているものもありますが、多くは今後の安定生産と安定販売に向けたさらなる検討を要する内容となっているため、引き続き指導相談体制を維持して参りたいと考えています。

質問 (2)新幹線駅開業に向けたメディアや青森県、函館市、その他の地域各団体へはどのようなアピールがなされていますか。

企画課長

奥津軽いまべつ駅の有効活用については、アクションプランに掲載された事業を中心に、現在、観光や物産など、それぞれの部会において詳細の検討や実際の活動に反映させるよう取り組みを行っています。町職員や関係機関、町民有志の皆さんによる行動計画が、徐々に浸透している状況であり、その活動内容について広報等でお知らせできる状況になってきました。

ソフト事業からハード事業まで多様な事業の中で、限られた予算の効率的かつ効果的な活用に向けて事業展開を図っているところであります。

また、PRに向けた県及び関係機関との協議につきましては、現在進行中の事業が多く今後、町民の皆さんやメディアに向けたアピールができるものと考えております。

猿による鳥獣被害対策について

これまで何度もこの問題について一般質問で取り上げてきました。猟友会による駆除、花火やエアガンによる追い払い、捕獲柵の設置、最近では、生態調査等様々な対策をとってきたと思います。し

かし被害は、一向に減らず、徐々に耕作をやめる方が増えています。このままでは、耕作放棄地が増加し、食糧の無くなったサルは徐々に住宅地まで下りてきて、今度は民家への被害が予想されます。

質問 (1)対策と成果について

産業建設課長

対策と成果については、猟銃による駆除、緩衝帯の設置、花火と電動ガンによる追い払い活動を実施してきました。

猟銃による駆除は、一番の効果がありますが年間20頭と駆除計画で制限されています。

緩衝帯の設置は効果があり、被害は無くなりませんが、他の地域に被害が多くなる傾向にあります。

また、花火、電動ガンによる追い払いは、一時的には効果があります。

質問 (2)生態調査結果について

産業建設課長

生態調査結果についてですが、発信機、受信機の購入と、職員による狩猟免許の取得ができ、調査の準備が整ったところであります。

今後は、サルを捕獲し、発信機を装着して、事前に行動範囲を把握しながら、これからの対策に役立てたいと考えています。

質問 (3)捕獲柵について

産業建設課長

ご質問は箱わなと思いますが、現在は、設置していませんので捕獲数もあり

ません。

今後は、発信機の装着等もあることから近隣町村の指導、助言をいただきながら捕獲を実施していきたいと考えていますのでご理解をお願いします。

富士和比古 議員

町の活性化について

質問 (1)青森駅に行く、ねぶた期間に、駅前でねぶた囃子が流れてきて、それを聞いていると心が弾みます。今別町でもPRし、観光客を喜ばし、地元の人たちも祭りの伝統を維持し、子どもたちに伝えていくことが必要だと思いますが、具体的な答弁を求めます。

企画課長

町の活性化を図るため「荒馬」は当町にとつて欠くことのできない素材だと認識しております。

ご指摘の荒馬まつりは、今年度、例年以上の多くの見物客があり、町外からの交流人口も増加しているものであります。

特に祭り期間中の県外からの交流人口につきましては、大学生を中心に、老若男女が町内の祭りに参加しており、荒馬まつりには、欠かせない存在になってきました。

ただ、祭りのPR方法の不足という大きな課題はいまだ未解決であり、今後は、運営方法や日時、会場の設営も含めて、関係機関と協議しながらより良いものにしていきたいと考えております。

質問 (2)盆踊りの開催について、町としての盆踊りは開催されておりません。過去においても、各地区で実施された

か不明ですが、今年、荒馬まつりが終わった後でも、本町通りに提灯が並んでおり、町がにぎやかになっていました。せっかく提灯をつけているので、お盆に帰省している方々に対して、企画し、何か出来ないものか。

企画課長

町の活性化策に関するご提案をいただき、感謝いたします。

盆踊りにつきましては、数年前まで実施していた地域もありますが、参加者の減少や高齢化などにより、自然消滅的に実施する地域がなくなったと認識しております。

お盆には、帰省客が多く一時的ではあるものの地域に活気があふれる時期であり、このような時期に「盆踊り」というイベントは活性化の一助になるものと考えられますので、今後このような盆踊りを含むイベントが開催できるか関係者と協議して参りたいと考えております。

質問 (3)北海道江差町、大間町を視察してきましたが、両町は、非常に地域の方々が町づくりのため走りまわっており、大変勉強になりました。わが町でも何か出来る事があるのではないかと感じてきました。何かアイデアがあるのか答弁求めます。

企画課長

ご指摘のように、他町村でも、誘客や地域の活性化に結び付けようとさまざまなイベントを開催している状況にあります。

当町においても、春まつり、荒馬まつり、秋まつりなどを開催しております

が、一層の活性化を図るため地域に根差したさらなるイベント等の展開を構築する必要のあるものと考えております。

当町の特徴である農山漁村地域の優れた素材を活用した、地域型イベント等を随時開催し、地域から魅力や情報を発信しながら活性化を図れるようにしたいと考えております。

○今後の財政の見通しについて

質問 (1)町長の三期目の事業として、財政的に無理と思っていた庁舎のリフォームをはじめ、公民館、診療所等さらにはほとんどの地区会館の修繕を行った実績について

質問 (2)三期12年を終えての感慨を伺いたい。

町長

三期12年間の感慨をとのことでありませんが、私が町長に就任したのは町を発展させ住民の幸せを如何にして向上させるかが、私の願いでありました。就任して直面したのは驚くべき財政の赤字と町村合併問題でした。これらの件については、平成14年10年に町民の皆さんに私が書いて配布した、今別町の現状と今後の課題についての冊子に詳しく述べてあります。私はこれらを基本として行政の推進を図ってきたのでありますが、特に感じるのは、赤字の苦しみはまだ癒えぬところに、小泉内閣の三位一体改革により、財政は破綻寸前まで追い込まれた苦しい思いもありましたが、その困難を乗り越え4年ほど前から黒字に転じた時は、誠に喜ばしく涙が出る思いでした。これ

は、議会を始め、職員そして町民の皆さんの理解と協力があつたからであり、感謝とともに全町民の皆さんを私は誇りに思っています。

又、町村合併があつたら今ごろ今別はどうなつただろうかと考えています。更に、あと2年半程で開通する北海道新幹線開通による奥津軽いまべつ駅建設や各地区の施設の充実やコミュニティ、そしていろいろな問題にも、ある程度の道筋が付けられたものと考え、私の力で出来るものは充分出来たと自負をしています。

しかし、やらねばならないことは山ほどありますが、私は高齢となり体力的にも限界との考えから、若い人に後を託すべきと引退を決意致しました。

私が行ってきた町政には悔いはありません。又、これまでの人生にも悔いはありません。今後は、新しい町長を先頭に議会、職員更には、町民一致協力して町の発展と皆さんの幸せのため努力して下さるようお願いするものであります。

私は、今別町に生れ育てられ一生をこの町で過ごしてきたことを幸せと思っています。又、今別町を誇りに思っています。

入江 奨 議員

私は1年半選挙公約実現を目指して、町民の願いや要求を議会に届け、町長が提案する案件が、町民の利益になるかどうかチェックしてきました。子育て支援の一環として、中学卒業するまで子どもの医療費の無料化が前回の条例改正で実現し、東郡町村と肩を並べることができたことは、画期的なことであります。

○町の財政について

質問 (1)24年度決算で財政が黒字となった理由を説明して下さい。

町長

平成24年度の決算で黒字となった理由であります。これは単年度だけで出来るものではありません。何年も長い時間をかけての成果であります。赤字財政から黒字に転換する事は、並大抵の遣り方では出来るものではありません。議会・職員更に、町民の理解と協力によって成せるものであります。

その理由として、無駄や余分な経費は、的確に洗い出し、大幅な赤字施設は民間に移譲し、過大な補助金は廃止しましたが、一番大きかったのは、人件費の削減であります。10年前の人員費は、11億5千万円程でありましたが、24年度では、5億6千万円と驚異的な数字となっております。その他にも様々な努力の積み重ねがあつての黒字であり、財政を黒字化にする事は、そう簡単ではない事を知って頂きたいと思っています。

協力してくれた議員の皆さん、職員、そして町民の皆さんには、心から感謝しています。

質問 (2)保育園、なかやま荘、ひよりの民営化は、今日の財政運営上にどういうメリットがあつたのか、デメリットがあるとすれば何か答弁を求めます。

地区座談会において、保育園・なかやま荘を含め、各施設の経営状況を示し、町民と話し合いを行った経緯がありま

総務課長

す。平成15年度では、「今別保育園」が69,115千円。「なかやま荘」が48,479千円。「ひより」は、59,524千円の赤字で、三施設の合計で177,118千円の赤字となっていました。

「今別保育園」は、17年4月から、「なかやま荘・ひより」は、19年4月から民営化となりましたが、1億7千万円強の赤字施設を今も抱えていたら、財政の破綻は申し上げるまでもありません。また、民営化により利用者へのサービスも向上したものと捉えており、雇用者も民営化前とほぼ同人数で、デメリットよりメリットが、はるかに大きいものと考えております。

質問 (3)今後の町の財政健全化に向けての課題があるとすれば、なにか答弁を求めます。

政府での各省庁からの概算要求で、新年度の交付税の配分額が、1・8%減との報道がありました。この交付税の状況によっては、計画事業の見直しも必要となる重要な部分であります。

また、奥津軽いまべつ駅前整備に伴う「アスクルの改修」「物産館の建築費」や「開業後の維持費」「水道施設の整備」等々、様々な事業が計画されておりますが、今年度から平成29年度までの5ヶ年の新・財政運営計画には、これらの事業も組み込まれており、各年度では健全化判断比率をクリアしております。

総務課長

事業内容の変更等による事業費の増も考えられますが、出来る限り正確に把握し、計画的に進めていくことが重要であると考えております。

○福祉灯油について

質問 (1)冬に向けて、非課税世帯のお年寄りたちは、年金の引き下げと灯油の値上げで暖房費の負担が大変です。以前実施した福祉灯油の支援を実施すべきと思うが答弁を求めます。

質問 (2)実施するとすれば、世帯数としてどのくらいあり、以前実施した時と同じ一世帯18ℓ入りの5管でどの位の予算がかかりですか。

町民福祉課長

福祉灯油の支援の実施については、議員もご承知のとおり、町長の指示により、実施に向け作業を進めております。

予定世帯数及び予算については、平成20年度の実施要綱による、65歳以上の高齢者世帯、障害者世帯、ひとり親世帯で町県民税の非課税世帯を助成対象とした場合、対象世帯は384世帯が見込まれ、助成灯油量を同要綱と同様の18ℓ3缶の場合、180万円ほどとなり、18ℓ5缶の場合は310万円ほどとなります。

参考のため申しあげますと、当時の灯油価格は、1ℓ120円を超えた時期もありましたが、今年8月末現在の灯油契約価格は1ℓ91円で、今後も値上がりが見込まれます。今後、予算及び対象者など、具体的なことについて、決定することとしておりますので、よろしくお願いたします。

○福祉除雪事業について

福祉除雪については、昨年も実施するかどうか心配されましたが、緊急雇用の予算があつたので、実施できたが、今年

はその予算がないので財政的に厳しいと思います。

質問 (1)平成25年度補正に、高齢者除雪事業費が組まれていないが、今年度、この福祉除雪事業を実施するかどうか答弁を求めます。

質問 (2)実施するとすれば、社協に委託するか答弁を求めます。

町民福祉課長

高齢者の除雪事業につきましては、今年度も実施する方向で考えております。平成24年度までの高齢者の除雪事業につきましては、県補助事業の緊急雇用創出対策事業で実施してきました。

平成25年度については、当該、対象補助事業がなく、単独事業となるため、現在実施に向け、昨年の実施状況を確認しながら、嘱託職員の人員、稼働形態等、社協への委託も含め検討し、予算化に向け作業中ですので、補正予算計上の際はよろしくお願いいたします。

地域経済について

質問 (1)青銀がすでに撤退し、今年は高齢者の食料品確保の重要な店となっていた今別中央スーパーおよび個人経営の店じまいなど、今後営業をやめる店が出てくるのが予想されます。今後の町としての地域経済の活性化の施策はあるのか答弁求めます。

企画課長

少子高齢化による過疎化の波は、全国的に留まることなく進行しており、当町においてもその悪影響が現れております。

ことは誠に残念であります。

地域経済の活性化は、一次産業の振興はもとより、北海道新幹線効果を最大限に享受できるような町民一丸となって取り組んでいく必要があるものと考えております。

生産された物産の販売ルートの確立や町内商店における割引制度などの導入等様々な事業展開を図りながら、町民一人ひとりが行動できる土台づくりも必要なものと考えております。

地域経済の活性化は、町の将来を占う大きな問題だけに、すぐ効果が表れるような特効薬は難しいことから、根気強い地道な活動が求められると思っております。

サルの被害対策について

これまでの議会で3回質問しましたが、昨年のサルの被害が過去最大でした。今別町において本格的なサル被害対策の見直しについて考えてみたいと思っております。

質問 (1)6月議会で、サル被害対策の環境として、蓬田村、外ヶ浜町と連携して、捕獲したサルに発信機をつけて、サルの動きをつかみ、サル被害を未然に防止できるように準備する話をしていたが、その進捗状況と今年のサル被害の現状の答弁を求めます。

産業建設課長

ご質問のサル被害対策の進捗状況ですが、発信機、受信機等の準備が整ったところであり、これからの調査となります。先日、今別で蓬田村、外ヶ浜町と情報交換を行い、被害状況と対策について確

認しましたので、今後の調査の参考にしたいと考えています。

次に、今年のサル被害の現状ですが、6月から被害があり、8月末で「バレイショ、ネギ、カボチャ、ニンジン」など36アールで約70万7千円程度の被害額であります。

町の経済を活性化させるために

町の経済の活性化をどう進めていくべきか考えてみたいと思います。

質問 (1)町の農業、漁業を含めた1次産業の経済を活性化させるために、外部から専門家を招き、指導を受け、その道を探求し、切り開き、実現していくための専門家集団として役場内に職員を中心にプロジェクトチームを作っていくべきではないか。

産業建設課長

農業分野では、高齢化が急速に進み、農業所得が半減するなど、危機的状況にあることから、国では、国内生産力を確保するため、平成22年度より戸別補償制度(現、経営所得安定対策)を実施し所得の安定を図っています。

また、後継者不足や耕作放棄地の増加などの「人と農地の問題」の解決に向けて、地域の将来に向けたプラン作り、実行する取組みに対して様々な支援を行っています。

町でもこの支援を活用した取組みで新規就農者も数名出てきており、これからの農業に明るい兆しが見え、将来の農業の担い手が定着してきています。

漁業分野では、全国的に近年魚介、海藻類等の水産資源が枯渇し漁業不振が続いています。

町でも種苗の放流事業や環境整備事業により漁業資源の回復と増殖に努め、農業安定を図る取組みをしていますが、農業施策とは違い漁業者の取り組みに対しての支援が少なく、所得の安定につながらないことから、後継者が育たない一つの原因と考えます。

このようなことから、資源の回復への取り組みと増殖技術について、県や関係機関からの助言を受けながら漁協及び漁業者の取り組みを支援し、漁業経営の安定と後継者が育つ環境づくりに努めて行きたいと考えていますのでご理解をお願いいたします。

質問 (2)福祉分野で、町独自の福祉計画を(これまでの計画を見直し)作成する専門家を役場内部に早期に育てていくべきではないか答弁を求めます。

町民福祉課長

町の高齢化関係の福祉計画は、平成24年3月に平成24年度から平成26年度までの高齢福祉計画・第5期介護保険事業計画が各種団体からの作成委員により、認知症対策等を含めた計画が策定されていますので、計画の見直しは平成26年度となります。

なお、次期計画策定方法等について、ご意見を参考にしながら、より良い実効性のある計画を策定したいと考えていますので、今後ともご指導をお願いいたします。

新幹線駅前の物産会館に荒馬まつりコーナーの併設について

質問 (1)荒馬は、日本で今別町だけのオニリーワンの文化で、また全国に発信できる文化です。この荒馬の歴史、衣装などが一目でわかる展示、踊りのDVDの視聴などまるごと今別、大川平の荒馬がわかる展示室を新幹線駅前の物産会館に荒馬まつりコーナーを併設したらどうか。もし併設するとすれば出来るだけお金をかけないで創意工夫して作ることを提案します。

企画課長

荒馬のPRにつきましては、新幹線駅舎通路の壁面に荒馬の躍動する姿や屋内駐車場待合室においてもPRスペースを設けることとしております。

ご指摘の荒馬のPRについては、物産館に機能を付帯する方法、道の駅いまべつを含めた有効活用など様々な角度から検討して参りたいと考えております。

また、大川平地区の有志により管理運営されている「荒馬資料館」の活用方法等も併せて検討する必要があると考えております。いずれにしましても、「荒馬」の効果的活用が、当町の魅力の向上につながるものとして期待しつつ取り組みを強化して参りたいと思っております。



視察研修報告

総務文教・産業建設両常任委員会から報告いたします。

去る、7月2日から4日まで、北海道の江差町と青森県の大間町及び佐井村を委員7人で視察研修して参りました。



7/2～4両常任委員会視察研修（北海道江差町）

2日・3日は、江差町の街づくり関係の研修をし、4日は、大間町のマグロを活かした事業及び佐井村の赤十字関係施設を見学し、研修して参りました。

北海道の江差町は、商店街改修のために住宅リフォーム事業を利用し、昔からの素材を活かしたモダンな建築物が沢山あり、アイデアあふれるものが多く、また大間町は、全国に知られているマグ



7/2～4両常任委員会視察研修（青森県大間町）

口を全面的に売り出し、PRをし、商品開発等にも積極的に取り組んでいました。また、佐井村は、医師三上剛太郎氏の博愛精神をたたえ、立派な生き方を手



7/2～4両常任委員会視察研修（青森県佐井村）

本にしようと名誉村民の称号を授与「赤十字の旗ひるがえる里づくり」をすすめています。3日間の視察研修は非常に勉強になりました。以上報告いたします。

総務文教常任委員会委員長 福士直治
産業建設常任委員会委員長 明田平苗

健康管理セミナー（外ヶ浜町）

7月9日東郡町村議長会主催の健康管理セミナーが外ヶ浜町の中央公民館で開催されました。まず、最初にセレモニー



7/9東郡議長会主催の健康管理セミナーへ参加（外ヶ浜町）

が行われ、その後準備運動（体操）を全員で行い、早速競技に入りました。競技の結果は、外ヶ浜町議会と僅差で我が今別町議会が優勝しました。

東青地域県民局陳情・要望書提出

7月10日青森市の東青地域県民局地域整備部（県庁）へ小鹿町長と議会議員6人で陳情し、要望書を提出して参りました。要望書の内容は、国道280号（奥平部～砂ヶ森）の拡幅整備促進並びに主要地方道今別・蟹田線（県道14号）の整備についてです。



7/10東青地域県民局地域整備部陳情・要望書提出（青森市）

県下町村議会議員研修会

これからの政局・政治はどうなる！

7月11日、青森市の青森市民ホールにて、県下町村議会議員研修会が開催されました。この日の講師は、テレビ、ラジオ、週刊誌で政治解説、コメンテーターを担当し、NHKテレビ「視点・論点」



でおなじみの政治評論家・浅川博忠氏を迎え、「これからの政局・政治はどうなる！」を演題に、今後の政局の動きと今後の課題について講演しました。



7/11県下町村議会議員研修会（青森市）

議会の動き

7月

- 2日～4日 両常任委員会先進地視察研修（北海道江差町・大間町・佐井村）
- 9日 東津軽郡議長会健康管理セミナー（外ヶ浜町）
- 10日 東青地域県民局地域整備部へ陳情（青森市）
- 11日 県下町村議会議員研修（青森市）
- 18日 例月出納検査
- 22日～26日 決算監査
- 24日 議会広報委員会

8月

- 2日 議会運営委員会
- 4日 荒馬まつり合同運行参加
- 5日 臨時議会
- 9日 東津軽郡議長会議長・事務局長会議（青森市）
- 20日 例月出納検査・財政健全化審査
- 28日 議員全員協議会

9月

- 3日 議会運営委員会
- 4日 駅前駐車場安全祈願祭
- 6日～12日 第411回定例会
- 19日 例月出納検査
- 24日 特別委員会
- 25日 議会広報研修会
- 26日 生きがい健康づくりと敬老の集い
- 27日 今別町戦没者鎮魂碑修復完成式及び戦没者追悼式

編集後記

小鹿正義町長が勇退され、阿部義治町長による新体制がスタートしました。議会としては、益々の開かれた行政と、更なる町の活性化を望み、共に明るい町づくりを目指していきたいと思っております。

議会広報委員 福士直治

小鹿町長 12年間お疲れ様でした

9月6日、第411回定例会が開催され、小鹿町長が最後の提案理由の説明を行いました。これまで今別町の難局を乗り越えた実績に対し、議会としても小鹿町長に心から敬意を表します。3期12年間大変お疲れ様でした。





大漁祈願祭 (多間天まつり)



和尚と漁師の乗った船



大海原に出航する船

9月12日、竜飛今別漁港今別支部において、大漁祈願祭がとり行われました。本覚寺境内にある多間天堂内で祈願された石を4隻の船に乗せ、3名の和尚と漁師が乗り込み、海上に出航しました。

この日の海はまるで祈願祭を待ちかねていたかのようなべた風で、念仏読経と共に祈禱した石を海に撒きながら、大漁を祈る漁師や手を合わせながら祈るように見送る家族の姿に、とても感銘を受けました。

高木恭造詩碑建立除幕式 ~生誕110年記念~



序幕の儀



高木氏本人の朗読が流れる碑のスイッチを押す関係者

9月20日、襲月会館前において高木恭造詩碑建立除幕式が行われました。津軽の方言詩人である高木恭造氏は、大正11年に代用教員として襲月尋常高等小学校で教鞭をとり、その学校が現在の襲月会館でした。この由緒ある地に「陽(シ)コあだね村」詩碑建立の機運が盛り上がり、高木恭造詩碑を建立する会(会長・佐藤英輝)を設立し、広く県内外からご協賛いただきながら今日に至りました。除幕式には高木氏3女の山内恭子さんも出席し「皆様の父に対する想いを感じ、胸がいっぱいです。」と話していました。

戦没者鎮魂碑修復完成式 及び今別町戦没者追悼式

9月27日、今別町戦没者遺族会主催による「戦没者鎮魂碑修復完成式及び今別町戦没者追悼式」が忠魂碑建立場所(今別小学校グラウンド脇)において行われました。今別八幡宮宮司による神事がしめやかにとり行われ、式典の最後に村上キヨさん(奥平部地区遺族)の「おもいで」が朗読されました。村上さんの兄に召集令状が届いてから、戦死の知らせが届くまでの母親の心情や家族の思いを朗読している時には、会場の中から嗚咽がもれ、戦後68年たった今も、遺族の方々にとっては、けっして終わることのない戦争であることを感じました。



祭文を読む遺族会会長山内さん



村上さん(左)と代読する職員



玉串奉納をする小鹿町長

八幡町集会所 新築落成祝賀会

9月21日、八幡町集会所新築落成祝賀会が開催されました。集会所玄関前でテープカットを行い、小鹿町長から田中会長へ集会所のカギの引き渡しをした後、祝賀会が行われ、小鹿町長から「近年自宅葬が増えている中、小規模な葬儀ができる場所、町内会の活動ができる場所として活用してほしい」と挨拶がありました。集会所のほかに休憩室やシャワールームも完備されているこの施設を、町内会の親睦を深めるためにも、大いに利用してほしいものです。



テープカットをする関係者



小鹿町長から鍵を受け取る田中会長

校外学習 稲刈り体験

10月2日、今別小学校5年生が稲刈り体験をしました。大川平嶋中一仁さんの田んぼにおいて春に植えた稲が黄金色の実を付けて、児童たちも感嘆の声を上げていました。

最初は恐る恐る稲刈り鎌を使って刈っていた70cm程の稲穂も、慣れてくるとザックザクととても上手に鎌を使い、稲の束もきれいに縛っていました。田植えの時と同じように嶋中さんの計らいにより稲刈り機械も児童たちに経験させ、手作業と機械作業の違いを肌で感じる事ができ、児童たちはとても興奮していました。この日収穫した餅米は餅つき大会でおいしいお餅になる予定です。



手作業も手際よく



とても楽ちんな機械作業

大盛況『むらもと秋まつり』

9月7日、村元会館前において『むらもと秋まつり』が開催されました。このまつりは地域活性化事業の一環として毎年行っているもので、今年で8回目を迎えました。地区内の方々はもちろんのこと、地区外からのお客さんも訪れ、今年には170名の参加がありました。会館内ではトランプ大会やドップ引きを楽しみ、テント内では地元の人々の方が作った焼き鳥・焼きそば・おでん等が飛ぶように売れ、子どもたちからお年寄りまで笑いの絶えない楽しい一日を過ごしました。また、今年から村元子ども会と山崎子ども会が合併し、育成会が結成されました。荒馬まつりでは山崎地区にもねぶた運行をし、秋まつりでも育成会の方々の協力を仰ぎながらまつりが開催されました。



ドップ引きを楽しむ皆さん



かき氷は大人気

10月7日、八幡町北山正さん宅裏山で今別保育園年長児を招いて、りんごもぎが行われました。子どもたちを喜ばせようと、北山さんが前もって年長児全員の名前のシールをりんごに貼り、それぞれの名前の子どもにりんごをもぎ取らせたと、自分の名前が入ったりんごを持った子どもたちは、とても喜んで大事そうに、ちっちゃな手で包み込んでいました。りんごの収穫の後は、あすなろ卵鶏の檻の中に入り、卵を一個ずついただき、最後に栗拾いをして大喜びをしていました。子どもたちは、北山家の宝の山に「すご〜い」を連呼していました。

まっかな秋 まっかなりんご



もぎ取ったりんごを手にする保育園児と保育士の皆さん

地域の活性化とイメージアップを図っていくとともに、地域間の連帯と親睦を深める目的の「第7回かかしロード280」が、かかしロード実行委員会主催により、油川地区から今別地区の国道280号バイパスで、8月26日から9月30日まで開催されました。

今別地区では、モリピアあさひと今別保育園のかかしが町内に設置され、モリピアあさひのかかしが、見事優秀賞に輝きました。



モリピアあさひのかかし(右)と今別保育園のかかし

かかしロード280 優秀賞獲得 「新幹線で楽しい家族旅行」



日赤奉仕団 交流会 今別保育園



ボールを落とさないように・・・



フラダンスを教わる園児たち

10月10日、今別町日赤奉仕団と今別保育園との交流会が行われました。日赤奉仕団の方々とは保育園児と一緒に大玉ころがしや、ボール運びのゲームを楽しんだり、保育園児がお遊戯を披露し、お返しに奉仕団の方々がフラダンスを披露した後、園児に腰みのやレイをつけてフラダンスを教えました。その後日赤奉仕団の方々が作った豚汁・おにぎり・フルーツに舌鼓を打ち、とても楽しい交流会となりました。

東郡中体連新人戦W優勝



バレー部の皆さん



野球部の皆さん

9月16日～18日、東郡中体連新人戦が行われ、今別中学校はバレーボールと野球で、喜びのダブル優勝を果たしました。

バレーボール初日は、小湊中学校・西平内中学校に快勝し、2日目の第1試合では夏季大会で惜敗した三厩中学校と対戦し、第1セットは失ったものの、第2セットから実力を発揮し2-1で勝利し、最終戦は東平内中学校に圧勝し、完全勝利をしました。

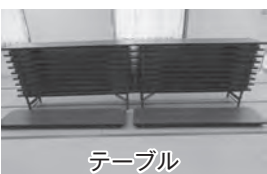
野球は初戦5回コールドで大勝し、2日間雨で順延となりましたが、東平内中学校相手の準決勝では3-1と快勝しました。決勝戦は小湊中学校との対戦で、初回から大量点をとられ、点差が開き苦しい戦いでしたが、小湊中学校が大幅に選手を交替した後選手がケガをしたため、交替選手がいなくなり、没収試合で今別中学校が優勝となりました。

宝くじコミュニティ助成事業

宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生の町づくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上のために事業が行われます。この度八幡町町内会が、平成25年度宝くじコミュニティ助成事業（一般コミュニティ事業）を活用して、新設された「八幡町集会所」用の冷蔵庫や座卓、海峡あすなろ公園等の環境美化のための草刈機、荒馬まつりで使用する太鼓や地域の各種イベント用のテントを整備しました。



テント



テーブル



草刈機



太鼓

地域の活性化を図るうえで今回整備した備品を活用して、一層のコミュニティ活動の推進に取り組みます。



今別町観光応援隊 おもてなし

北海道新幹線（仮称）「奥津軽いまべつ駅」の開業に向け、観光ガイドの準備を進めている今別町観光応援隊の会員が10月12日、北海道江差町から訪れた地域づくりグループを出迎えました。開業に向けた道南地域との連携や交流の一環として行われ、「互いに行き来することで地域を盛り上げていきたい」とがんばっています。

観光応援隊は昨年発足。現在10人余りの町民らが参加しており、講師を招いての講演でガイドの心構えを学び、県内各地のガイド先進地を訪れてはおもてなしの方法を実地研修するとともに互いの交流にも役立てています。

お迎えは新幹線駅建設予定地の津軽海峡線「津軽今別駅」で行われ、町議会議員や町のゆるキャラ「あらまくん」「たずなちゃん」などと一緒に同駅に降り立った江差町の一行を歓迎。ガイドらは「よく来てくださったなあ」と言う、「今きたじゃあ」と同じ訃りで答え、和やかな雰囲気になりました。

この後、町の名高い寺である本覚寺と正行寺をガイドしてお寺の歴史などを紹介しました。特に本覚寺の第30代住職の工藤貞導和尚が「多聞天堂」や「庫裏」、「本堂」を紹介し、江差町の一行を驚かせていました。

山内和子会長は、「新幹線が来ることで津軽海峡エリアがもっと仲良く、魅力を発信していき、交流が大事なことを強調し、私たちが気づかない地元の魅力が相手気づいてくれることもあります。」と交流の大切さを語っていました。



江差町の一行を迎える議員や応援隊の方々



本覚寺で観光案内をする山内会長（右から2人目）

今別町ふるさと大使

町では、北海道新幹線（仮称）「奥津軽いまべつ駅」開業を見据え、町出身者や町に縁のある方を対象に町内外で活躍している田中哲也氏、太田家元九郎氏、立花竜司氏の3氏に「今別町ふるさと大使」として委嘱しました。委嘱は10月11日からです。同大使は、当町の観光資源や地域振興等に関する魅力ある情報を発信し、町の知名度の向上と観光、地域振興等の発展を図るために今別町ふるさと大使を設置したものです。

～今別町出身者3名任命～

田中哲也氏



太田家元九郎氏



立花竜司氏



田中氏は自転車、ゴルフ、スキー大会で障害者競技大会の世界大会に出場し、小学校、中学校等での講演も積極的に行っています。太田家氏は津軽三味線三元会の会主を行いつつながら太田家元九郎の芸名で全国的に「津軽三味線漫談」として興業を行っています。立花氏は全国的に歌手活動を行ないながら、社会福祉施設への慰問活動にも力を入れています。田中哲也氏は「講演であちらこちらに行っています。講演等の中で少しでも今別のPRをしたいと思っています。」と話していました。

平成25年今別町文化賞 スポーツ賞等候補者推薦について

町では文化の向上発展に貢献した方及び体育・スポーツの振興に顕著な功労があった方、又は各種スポーツ大会において優れた成績を収め、町の体育・スポーツの振興に寄与した方々を表彰するため、下記により候補者の推薦を募っております。ご家族、知人の中に基準を満たす方がおりましたら、ご推薦下さるようお願いいたします。

1. 表彰の範囲：文化の向上発展に貢献した町民、体育・スポーツの振興に功績があった町民及び町出身者、又は団体若しくは当町に縁故のある方
 2. 表彰の基準
 - (1) 全国規模及び県規模以上の公的機関又は団体が主催する文化的大会及び展覧会において上位入賞又は最高の賞を受けたもの
 - (2) 国際的なスポーツ競技会において活躍した者
 - (3) 多年にわたり体育・スポーツの振興に貢献した者
 - (4) 各種スポーツ大会において優れた成績を収めた小学生や中学生以上の個人又は団体
 - (5) 県中学校体育連盟主催の各種大会において8位以内の入賞者
 3. 表彰対象期間は、平成25年1月1日から平成25年12月31日まで
 4. 推薦期限は、平成25年12月7日までですが、推薦期限後から12月31日までの間に表彰基準に該当した場合でも推薦できます。
- ※表彰の種類等その他詳しい内容は、今別町教育委員会へお問い合わせください
- 【問合せ先】今別町教育委員会 電話：35-2157

第17回ママさんカップ バレーボール大会

～テレビ放映されます～

10月26日、新青森県総合運動公園マエダアリーナにおいて、第17回マルヨ水産カップママさんバレーボール大会が開催され、「いまべつママさんチーム」が出場しました。

当日、チームの紹介を荒馬ゆるキャラ「あらまくとたずなちゃん」が、町の紹介と2015年開業予定の（仮称）「奥津軽いまべつ駅」をユーモアたっぷりにPRしました。

みなさん、ご覧ください。



放映日時：11月23日（土） 14：00～15：25
放映局：青森テレビ

詐欺に注意!! 「ロト6-の当選番号を教えます」

突然、「会員になれば、ロト6の当選番号を事前に教える」という電話がかかってきた。「当選番号を言うから、明日新聞で確認してみよう」と言われ、翌朝の新聞を見たところ、当たっていたので、すっかり信用してしまった。会員になるため、審査費用1万円を指定口座に振り込み、「宝くじが当たったら」という将来の夢を書いた作文を保険証のコピーと一緒にファックスで送った。後日、合格の連絡の際に情報料として350万円かかると聞き、あまりに高額だったので不安になった。払っても大丈夫だろうか、(60歳代男性)

<ひとこと助言>

- ☆ロト6などの数字選択式宝くじの当選番号を事前に教えてもらうのと引き換えに、高額な情報料や預託金を支払わされたという相談が寄せられています。
- ☆他にも「くじで使う出玉にICチップを埋め込んでいるので、自在に数字が出せる」と説明され、信用してしまったケースもあります。
- ☆数字選択式宝くじの抽選は、毎週月曜から金曜の18時45分から行われ、インターネットで生中継されます。抽選結果が翌朝の新聞に掲載されるまでの時間差を利用して消費者をだますのが、この詐欺の手口です。
- ☆宝くじの抽選は厳正、公式に行われており、抽選を操ることや、抽選結果が事前に分かることは、絶対にありません。
- ☆うまい話には耳を貸さず、お金は絶対に支払わないようにしましょう。困った時は、お住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください。

今別診療所からの健康だより ～胃食道逆流症について～



みなさん「胸やけ」を感じたことはありませんか？

胃液は強い酸性のため、これと混ざり合わさった食物や胃液などが食道に逆流して食道に炎症を起こすと、胸やけが起こります。以前は、逆流性食道炎という病名が用いられていましたが、現在ではこれらを含めて包括的な疾患概念として胃食道逆流症と呼ばれています。



胃食道逆流症は欧米に患者数が非常に多く、日本では比較的少ない病態でしたが、高齢化・食事の欧米化・診断の進歩などにより、日本でも近年この病気に悩まされる人が増えてきています。

今回は、この胃食道逆流症の症状、診断、治療方法などを紹介したいと思います。

胃食道逆流症の原因は？

1. 胃液の逆流を防ぐ機能の低下：本来、食道と胃のつなぎ目の部分は括約筋と呼ばれる筋肉などで胃の中のもの逆流しないように弁の働きを持っていますが、加齢とともにこの働きが弱くなったり、腰の曲がった高齢に多い食道裂孔ヘルニア（つなぎ目の部分の固定が弱くなり、本来おなかの中にあるものが胸のほうへとびだしてしまう）や胃の手術などで形態が変わることによって起こります。



2. 食道や胃の蠕動運動の低下：食道へ逆流してきた胃液を胃に送り込むのが遅れ、食道内にとどまる時間が長くなったり、胃炎や胃潰瘍などによって胃の働きが弱まり食物が長時間とどまるようになると起こりやすくなります。

3. 腹圧の上昇：肥満やお腹を締め付けたり、重いものを持つことにより胃が圧迫され、胃液を逆流しやすくなります。

4. 胃液の分泌増加：喫煙やお酒を飲んだりすると胃液の分泌が多くなり、逆流が起こった時に食道粘膜が傷つけられやすくなります。

5. 食物摂取量の増加：食べ過ぎたり、脂肪の多い食事をとると胃の働きが悪くなり、胃と食道の間にある「噴門」が開きやすくなります。空気が出れば「げっぷ」胃液が出れば「逆流」になります。

症状は？

一番多い症状は「胸やけ」です。しかし「みぞおちやのどが焼ける」あるいは「胸がチリチリ焼ける」などの症状も多いといわれています。その他には「胃液が食道や喉あるいは口の中へ逆流する感じ（吐出）」や「口がすっぱくなる感じ（呑酸感）」また頻度としては少ないですが、「のどの痛みやつっかえる感じ」「嘔声（しわがれ声）」「胸痛」などの症状もあります。



診断するための検査は？

一般的には内視鏡検査（胃カメラ）を行います。これにより逆流に伴う食道の発赤やびらん（ただれ）が認められれば診断できます。



治療方法は？

薬物治療としては、「胃酸分泌抑制剤」、「消化管運動機能改善剤」、「制酸剤」、「粘膜保護剤」などが使われています。薬で症状を改善させるとともに、あとでお話する生活の注意点を守っていくことが大切です。

日常生活のなかで気を付けることは？

胃食道逆流症の症状は、日常生活の改善だけでも緩和されることがあります。

前屈みの姿勢、排便時の力み、ベルトや帯でお腹を締め付ける、重いものを持つなどの腹圧を上げることを避けて下さい。腹圧が上がることによって逆流しやすい状態を作ってしまいます。

食事では脂肪の多い食物、チョコレートなどの甘いもの、柑橘類、コーヒー・紅茶、香辛料、アルコール類、タバコなどは胃酸の分泌を高めたり、胃内での食物の停滞時間が長くなることなどで逆流を起こしやすくなります。

そしてなによりは食べ過ぎない、食後すぐ横にならないことが大切です。食べ過ぎは胃酸の分泌や胃内の圧を上げ、食後すぐ横になると胃酸が逆流しやすいので、食後1～2時間は横にならないようにしましょう。

上記のような症状があり、「もしかしたら自分も」と思われる方は一度診療所にご相談ください。内視鏡検査で診断し、適切な治療法を提案させていただきます。

ただしこの病気は治療も大切ですが、日頃の悪しき生活習慣を改善することが何よりも重要であることをお忘れなく。

母子・寡婦福祉資金の貸付予約の受付

青森県では、母子家庭などのお子さんが、修学・修業などの際に必要な資金の貸付予約の申し込みを受け付けています。貸付の限度額や償還方法、償還期間などの詳細については、東地方福祉事務所までお問い合わせください。

予約申込期間

平成25年11月1日～平成26年3月31日
(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

対象者

来春、お子さんが小・中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、各種学校へ進学する母子・寡婦家庭の方（小・中学校の修学支度資金は所得税非課税の場合のみ）

※なお、現在在学中の方の修学資金の申し込みは、随時受け付けています。

【問合せ先】

東青地域県民局地域健康福祉部福祉総室（東地方福祉事務所）
電話：017-734-9950



青森・ソウル線で、韓国へひとつ飛び！

さらにラクラク乗継で世界の各都市へ！

- 青森・ソウル線は平成25年10月27日（日）から、水・金・日の週3便運航。週末を利用した旅行にも便利。
- 世界とつながる仁川空港は、乗り換えもラクラク。バンコク、ハノイ、香港、北京、ニューヨーク、ホノルル、グアムなど、世界の各都市へ。
- 青森・ソウル線を利用すると、駐車料金が最大1,000円。平成26年3月末まで青森空港駐車料金減免の社会実験を実施中。

【問合せ先】

青森県企画制作部交通政策課
航空グループ
電話：017-734-9153



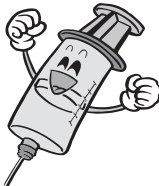
こんにちは。保健師です。 ～すすめよう 健康いまべつ21～

日本脳炎の予防接種についてのお知らせ

○日本脳炎の予防接種後に重い病気となった事例があったことをきっかけに、国の方針として平成17年度から平成21年度まで、日本脳炎の予防接種の案内を行いませんでした。



○その後、新たなワクチンが開発され、現在は日本脳炎の予防接種を通常通り受けられるようになっていきます。



○平成17～21年度の間定期予防接種の機会を逃した方々には、平成23年度から順次接種のご案内を行っています。(今年度は小学1年生～4年生と高校3年生が対象です。)

○ご案内の対象になっていない場合でも、平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれで、1期(通常は3歳で2回、4歳で1回)・2期(通常は9歳で1回)の接種が終わっていないお子様は、20歳未満までの間、日本脳炎の定期予防接種を受けることができます。



○予防接種を希望する方は、母子健康手帳をご確認の上、下記までお問合せ下さい。

【問合せ先】今別町役場 町民福祉課 保健師
電話：35-3004



今別町ふれあい福祉センター 11月の相談日のご案内

一般相談、日常のあらゆる心配ごと・・・など

相談種別	相談日	相談時間	相談員
生活一般相談	11月13日(水)・27日(水)	10:00～11:30	生活一般相談員
電話相談	毎週月曜日～金曜日	10:00～17:00	社協職員

※土、日及び祝祭日は対応できませんのでよりしくお願いします。

専門相談 専門相談員による相談

相談種別	相談内容	相談日	相談時間	相談員
法律相談	借金、離婚、財産相談、土地登記に関する相談	11月12日(火)	13:30～15:30	司法書士
年金相談	各種年金、社会保険等についての相談	11月18日(月)	10:00～12:00	社会保険労務士

※相談を予定している方は、事前に予約をお願いします。当日の来所は電話でお知らせ願います。また、今月の専門相談は法律相談(司法書士)だけです。

《問合せ先》今別町社会福祉協議会 電話35-3081

税務署からのお知らせ

【税を考える習慣】

期間：11月11日(月)～11月17日(日)

テーマ：税の役割と税務署の仕事「税を考える習慣」の期間中は、税の役割や国税庁のICT化・国際化に対する諸施策について紹介します。国税庁ホームページには、動画やイラストで見る税務署の仕事に掲載し、ツイッターを活用して各種情報を提供します。また、職員による講演会や関係民間団体、地方公共団体と連携して各種広報施策を実施します。これらの詳しい内容は、国税庁ホームページをご覧ください。

【所得税の予定納税(第2期分)の納付をお忘れなく】

納付期間は、平成25年11月1日から12月2日までです。振替納税を利用している方は、納期限(平成25年12月2日)に指定の金融機関の口座から自動的に納付されます。振替納税以外の方は、納期限まで金融機関又は所轄の税務署の窓口で納付してください。これらの詳しい手続きは、国税庁ホームページをご覧ください。

国税庁ホームページ：www.nta.go.jp

【災害に伴う県税の減免措置等について】

台風、地震などの災害により被害を受けられた方には、県税の減免、徴収猶予、申告等の期限の延長の制度があります。これらの制度の適用を受けるには、いずれも申請が必要です。

制度の内容や手続きなど詳しいことは、東青地域県民局県税部までお問い合わせください。

【問合せ先】

東青地域県民局県税部
納税管理課
(青森市新町2丁目4-30)
県庁舎北棟3階
電話 017-734-9970



国民年金保険料の 免除期間・納付猶予期間がある方へ

国民年金保険料の追納をお勧めします！

国民年金保険料の免除(全額免除・一部免除・法定免除)、若年者納付猶予、学生納付特例の承認を受けられた期間がある場合、保険料を全額納めた方と比べ、老齢基礎年金(65歳から受けられる年金)の受取額が少なくなります。

そこで、これらの期間の保険料は、将来受け取る老齢基礎年金を増額するために、10年以内であれば遡って古い月分から収める(追納)ことができます。

ただし、免除等の承認を受けられた期間の翌年度から起算して3年度目以降に追納されると、当時の保険料額に一定の加算額が上乗せされます。

- 一部免除を受けた期間は、残りの納付すべき保険料が納付されなければ追納はできません。
- 「若年者納付猶予・学生納付特例期間」が「法定免除・申請免除期間」より先に経過した(古い)月分である場合は、「若年者納付猶予・学生納付特例期間」が優先します。
- 「法定免除・申請免除期間」が「若年者納付猶予・学生納付特例期間」より先に経過した月分である場合は、どちらを優先して納めるか本人が選択できます。
- 「若年者納付猶予・学生納付特例期間」の中では、先に経過した月分から納めることになります。
- 「法定免除・申請免除期間」の中では、先に経過した月分から納めることになります。

※追納のお申込み・ご相談はお近くの年金事務所までお願いします。

【問合せ先】町民福祉課 電話 35-3003
青森年金事務所 電話 017-734-7498

イ マ ダ ス

まちの行事予定

(10/1~11/10)

※行事予定名・開催場所・担当を掲載しています。

11/6 (水)	乳幼児検診	福祉
10 (日)	第30回今別町総合福祉展	社福協
12 (火)	就学時健診 (今別小学校)	教育
24 (日)	集団検診《開発センター》	福祉
30 (土)	パワーアップ研修 (ウォーキング)	教育
12/2 (月)	介護保険料第4期納期限	福祉
	国民健康保険税第4期納期限	税務
4 (水)	人権・行政相談《中央公民館》	総務
6 (金)	第32回今別町社会福祉展	社福協

今別町商工会からのお知らせ 合格おめでとう

第170回全国商工会連合会珠算検定合格者

- 3級 平野内 優生 (青森北高今別校舎1年)
- 4級 笹谷 幹太 (今別小4年)
- 6級 米谷 隼 (今別小4年)

お金や暮らしに関する相談会

～解決の糸口を見つけに行こう!～

市と連携して生活再建相談事業を行っている消費者信用生活協同組合による無料相談会です。専門スタッフと弁護士がお金や暮らしに関する悩みについて、丁寧に聞き取りし、一緒に解決の糸口を見つけます。

○11月9日(土)・10日(日)

青森会場：消費者信用生活協同組合青森事務所
青森市新町1-2-18 サンフレンドビル2階

【問合せ先】 消費者信用生活協同組合青森事務所
電話：0120-102-143

○11月16日(土)・17日(日)

八戸会場：消費者信用生活協同組合八戸事務所
八戸市八日町36 第1ビル4階

【問合せ先】 消費者信用生活協同組合八戸事務所
電話：0120-102-084

弘前会場：ヒロロスクエア (ヒロロ3階)
弘前市大字駅前町9-20

【問合せ先】 消費者信用生活協同組合青森事務所
電話：0120-102-143

相談料 無料

時間 午前10時～午後4時

相談例 生活資金が足りない、多額の借金がある、他人の保証人になっている、ギャンブルで散財したなど

ご来場の際には各相談事務所へ事前予約を頂きますと、ご予約いただければ幸いです。


予約受付時間：9:00～17:00

戸籍の窓口 (9月1日から30日までの届出分)

お悔やみ申し上げます

梅田 清二 (97)	西田 房美 (82)	今別の姿
澤田 善一 (90)	今別 妙子 (85)	(平成25年9月30日現在)
野土谷 三上 (91)	今別 せき (94)	面積 125.28km ²
嶋中		人口 3,145人(-12)
		男 1,472人(-3)
		女 1,673人(-9)
		世帯数 1,545 (-5)
		()内は前月比

掲載を希望されない方は、届出の時に町民福祉課へ申し出下さい。また、東奥日報についても同様申し出下さい。



最後の学習発表会でわたしは、先生の台詞をしっかりと覚えました。消しゴムをしっかりと削りました。劇のときも、最後の自分のせりふは、特に、くり表情にも気を付けて言えました。歌も、みんなと心を一つにして歌えました。わたしは、スローガン「82人の絆」とあるように、本当に82人全員が一つになつて、絆が深まったと思います。これからもみんなとがんばりたいと思います。

① 下山 姫麻梨
② 奥平 部
③ ピエティ ヨ
ショップの店員

町の元気な子ども達

「今別小学校6年生」
①氏名 ②地区名 ③将来の夢

放送大学4月入学生募集

創立30周年を迎えた放送大学は、テレビ等の放送やインターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で、幅広い世代の方が学んでいます。

ただいま平成26年4月入学生を募集しています。詳しい資料を無料で送付いたしますので、お気軽にお問合せください。

○募集学生の種類

- ・教養学部
 - 科目履修生 (6ヵ月在学し、希望する科目を履修)
 - 選科履修生 (1年間在学し、希望する科目を履修)
 - 全科履修生 (4年以上在学し、卒業を目指す)
- ・大学院
 - 修士科目生 (6ヵ月在学し、希望する科目を履修)
 - 修士選科生 (1年間在学し、希望する科目を履修)

○出願期間

平成25年12月1日～平成26年2月28日
(インターネット出願は11月15日より受付開始)

【問合せ先】

- 〒036-8561 放送大学青森学習センター 電話 0172-38-0500
- 〒039-1102 放送大学八戸サテライトスペース 電話 0178-70-1663
- 放送大学ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>

青森県最低賃金改正のお知らせ

- 1 青森県最低賃金が改正されました。金額等は次のとおりです。
時間額 665円 (平成25年10月24日から)
- 2 改正前の青森県最低賃金 (654円) から11円の引き上げとなります。
- 3 青森県最低賃金は、青森県内で働く全ての労働者と、労働者を一人でも使用している使用者に適用されます。
- 4 製造業と小売業の一部には、特定 (産業別) 最低賃金が定められています。
- 5 青森労働局長の許可なく青森県最低賃金額以上の賃金を支払わなかった場合は、最低賃金違反となり、罰則規定 (罰金額50万円以下) が適用されることがあります。
- 6 詳しくは、青森労働局ホームページからご覧になれます。
(<http://aomori-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>)

【問合せ先】 青森労働局労働基準部賃金室

電話：017-734-4114 FAX：017-734-5821

編集後記

今月号は、秋まつり・敬老会・公民館まつり・ふるさと大使任命・観光応援隊によるおもてなし等、盛りだくさんの話題を掲載することができました。ふるさと大使の方々は、いろいろな分野で頑張っている方々なので、愛する故郷のために、力を貸してください。秋まつりでは、特産品開発コーナーを設け、町民の皆さんにも、商品を手にとったり、実際に食べていただいたりして、各団体の頑張っている姿を見ていただき、とても好評でした。10月13日からは、新町長が就任し、新幹線開業に向けての体制作りにも拍車がかかり、職員も一丸となって前進するのみと感じています。町民の皆さまの協力や、助言をいただきながら、私たちの町を盛り上げていきたいものです。

広報担当 (おへん)